



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 ソマール株式会社

上場取引所 東

コード番号 8152 URL <http://www.somar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 曾谷 太

問合せ先責任者 (役職名) F&A部長

(氏名) 今井原 俊彦

TEL 03-3542-2152

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,003	△14.7	△19	—	△20	—	△19	—
23年3月期第1四半期	7,037	20.7	120	—	120	—	29	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 37百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △69百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△0.98	—
23年3月期第1四半期	1.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	26,773	14,281	53.3
23年3月期	25,763	14,342	55.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 14,281百万円 23年3月期 14,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,700	△6.6	50	△76.2	30	△82.6	△10	—	△0.51
通期	26,700	2.0	220	26.1	190	161.7	20	—	1.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	19,587,349 株	23年3月期	19,587,349 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	135,570 株	23年3月期	134,483 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	19,452,355 株	23年3月期1Q	19,459,052 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月11日に発生した東日本大震災の影響で、東日本を中心に全国的な規模で企業活動が大きく停滞し、加えて個人の消費マインドも低下したため、景気の回復に大きなブレーキが掛かりました。当社グループが関係する電機・電子の業界や、自動車、製紙といった業界におきましても、震災の影響でサプライチェーンに甚大な支障が生じたため、生産活動が大きく抑制されました。その後、こうした業界では徐々に回復の兆しが出てきましたが、依然として厳しい状況が続いています。

こうした状況下、当社グループでは、顧客の復旧・復興活動への適切な対応と当社販売製商品の顧客への供給体制確保を最優先事項として取組み、製品生産のための原材料調達の確保や仕入商品の供給安定化に努めました。こうした努力で製商品供給面での不安は解消したものの、顧客側の企業活動が大きく落ち込んだため、需要が大幅に減少しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は60億3百万円（前年同四半期比14.7%減）、営業損失が1千9百万円（前年同四半期は営業利益1億2千万円）、経常損失が2千万円（前年同四半期は経常利益1億2千万円）、四半期純損失が1千9百万円（前年同四半期は四半期純利益2千9百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[高機能材料事業]

高機能材料事業は、電子部品や自動車部品などの関係業界で震災の影響により生産活動が広範囲にかつ大幅に抑制されたため、販売製商品の需要が大きく落ち込みました。その結果、当事業全体の売上高は43億2千8百万円（前年同四半期比16.4%減）、営業利益は3千6百万円（前年同四半期比76.4%減）となりました。

(主な製商品群の概況)

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
コーティング製品	携帯電話、パソコン、HDDなど、主として電子機器業界向けの需要が震災で大きく落ち込み、9.4%の減収となりました。
高機能樹脂製品	特に自動車部品業界での大幅な生産調整で、当該業界向け需要が大きく落ち込んだため、16.2%の減収となりました。
電子材料	重電業界向け材料では震災からの復興特需的な需要もありましたが、電子機器業界向けの材料需要が大きく落ち込み、17.6%の減収となりました。
機能性樹脂	プリント基板や家電製品関連の樹脂需要が、政府の経済対策の打切りや震災による全般的な消費減退の影響で落ち込み、19.3%の減収となりました。

〔環境材料事業〕

環境材料事業は、主要顧客である製紙業界で震災による操業停止を余儀なくされた工場が複数発生し、その後被災工場の復旧が鋭意進められてきたものの、当四半期においては販売製商品の需要が大きく落ち込みました。その結果、当事業全体の売上高は14億4千8百万円（前年同四半期比10.7%減）、営業損失4百万円（前年同四半期は営業利益2千万円）となりました。

（主な製商品群の概況）

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
ファインケミカルズ	主要顧客のいくつかの工場が震災で操業停止を余儀なくされたため、販売製品の需要が落ち込み、14.8%の減収となりました。
製紙用化学品	製紙業界向け販売商品の中には震災の影響で特需的に需要が伸びたものもありましたが、全体的には需要が落ち込み、9.8%の減収となりました。

〔その他の事業〕

その他の事業は、主体の食品材料において、引続く個人消費の低迷や円高基調による販売価格の値下げ圧力が続く中、顧客ニーズに応えるサービスの提供と拡販に努めました。当四半期では震災の影響もあって、保存食向けや冷菓向けの食品材料が比較的堅調に販売に寄与しましたが、飼料向けの非食品素材は低調に推移しました。その結果、当事業全体の売上高は2億2千5百万円（前年同四半期比5.4%減）、営業利益は3千2百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は176億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6千9百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が2億9百万円減少したものの、現金及び預金が2億4千5百万円、たな卸資産が3億3百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は91億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億4千万円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が5億4千5百万円、機械装置及び運搬具が1億7千1百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、267億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億9百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は70億4千万円となり、前連結会計年度末に比べ7億7百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が6億円増加したことによるものであります。固定負債は54億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6千2百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が4億円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、124億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億7千万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は142億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が6千9百万円増加したものの、剰余金の配当9千7百万円、四半期純損失1千9百万円、その他有価証券評価差額金が1千1百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は53.3%（前連結会計年度末は55.7%）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,382,132	7,628,069
受取手形及び売掛金	7,775,594	7,565,656
たな卸資産	1,835,890	2,139,010
その他	328,475	354,351
貸倒引当金	△19,590	△14,990
流動資産合計	17,302,503	17,672,098
固定資産		
有形固定資産	5,293,141	5,947,907
無形固定資産	248,922	252,362
投資その他の資産		
投資有価証券	1,587,173	1,567,666
その他	1,821,109	1,822,646
貸倒引当金	△488,942	△488,877
投資その他の資産合計	2,919,340	2,901,435
固定資産合計	8,461,404	9,101,705
資産合計	25,763,908	26,773,804
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,322,149	4,318,578
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,600,000
未払法人税等	58,218	11,065
賞与引当金	139,187	75,160
その他	413,157	635,221
流動負債合計	6,332,712	7,040,026
固定負債		
長期借入金	4,600,000	5,000,000
退職給付引当金	308,756	287,673
役員退職慰労引当金	44,557	36,437
資産除去債務	62,795	62,931
その他	72,956	65,013
固定負債合計	5,089,065	5,452,055
負債合計	11,421,778	12,492,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,886,268	4,886,268
利益剰余金	4,557,154	4,440,797
自己株式	△44,753	△45,001
株主資本合計	14,513,893	14,397,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,541	86,702
繰延ヘッジ損益	603	△497
為替換算調整勘定	△270,908	△201,771
その他の包括利益累計額合計	△171,763	△115,566
純資産合計	14,342,129	14,281,722
負債純資産合計	25,763,908	26,773,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,037,451	6,003,128
売上原価	6,200,503	5,341,835
売上総利益	836,947	661,293
販売費及び一般管理費	716,788	680,722
営業利益又は営業損失(△)	120,159	△19,428
営業外収益		
受取利息	1,720	2,086
受取配当金	14,739	15,541
その他	3,426	6,869
営業外収益合計	19,887	24,497
営業外費用		
支払利息	12,450	16,036
債権売却損	2,032	1,285
為替差損	3,178	6,994
その他	1,700	822
営業外費用合計	19,361	25,138
経常利益又は経常損失(△)	120,684	△20,069
特別利益		
貸倒引当金戻入額	34,191	—
特別利益合計	34,191	—
特別損失		
固定資産売却損	—	620
固定資産除却損	665	4,788
投資有価証券評価損	1,108	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57,354	—
特別損失合計	59,127	5,408
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	95,748	△25,478
法人税、住民税及び事業税	4,527	3,870
法人税等調整額	62,008	△10,256
法人税等合計	66,536	△6,386
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	29,212	△19,092
四半期純利益又は四半期純損失(△)	29,212	△19,092

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	29,212	△19,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112,597	△11,839
繰延ヘッジ損益	△918	△1,101
為替換算調整勘定	15,226	69,137
その他の包括利益合計	△98,289	56,196
四半期包括利益	△69,076	37,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,076	37,104
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高機能材料 事業	環境材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,177,787	1,621,345	6,799,132	238,319	7,037,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,177,787	1,621,345	6,799,132	238,319	7,037,451
セグメント利益又は損失(△)	153,662	20,257	173,920	37,302	211,222

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品関連素材の輸入販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	173,920
「その他」の区分の利益	37,302
全社費用(注)	△91,063
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)	120,159

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高機能材料 事業	環境材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,328,957	1,448,606	5,777,563	225,565	6,003,128
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,328,957	1,448,606	5,777,563	225,565	6,003,128
セグメント利益又は損失(△)	36,262	△4,309	31,952	32,969	64,922

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品関連素材の輸入販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	31,952
「その他」の区分の利益	32,969
全社費用（注）	△84,350
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失（△）	△19,428

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。